

メールマガジン「みんなでアシスト♪」 大学生ボランティアによるコラム

タイトル:日常の中できらめく瞬間

執筆者:上條茜里

令和2年1月21日配信 第14号掲載

皆さん、初めまして！

今回初めて記事を書かせて頂く上條茜里(うえじょうあかり)と申します。

私は現在、大学で社会学を勉強していますので社会問題に強い関心があります。

私が普段大学生として感じている事、勉強していることを皆さんと共有したいという思いがあり、今回から記事を書かせていただきます。

よろしくお願いいたします。

さて、初回のトピックはセレンディピティ(Serendipity)について書きたいと思います。

皆さんはこの言葉についてどのようなイメージをお持ちでしょうか。私はこの言葉は韓国の有名アーティスト BTS の歌を通じて知りました。

セレンディピティとは、偶然をきっかけにして幸運をつかみ取ることです。

このセレンディピティという言葉ですが、私は最近偶然の出会いにより、一日がとても良い日になった経験がありました。

ではお話ししていきますね。

ある日、私は電車を降りて、自動販売機を目指しました。

寒い日でしたので、ホットココアが買いたかったのです。

そこで、自動販売機を見つめていると、一人のサラリーマンの方が、何か私に話しかけているのです。

私はイヤホンを取ると「Present for you」といきなり言われました。

最初この方は私を外国人だと思ったようで英語を話していました。

実は、私東京のどの町を歩いてもニイハオやアンニョンハセヨと話しかけられる場面が多々あり、もう慣れっこです！(笑)

それは置いておいて、私がイヤホンを外すと彼は、「当たったので一本どうぞ！」と言いました。

どうやら自動販売機の抽選が当たり、一本無料になったようです。

私は無料でココアをゲットしました。

私は無料のココアよりも、このとても忙しい東京という町で見知らぬ人と繋がる瞬間があるということがとても面白かったです。

この瞬間こそまさにセレンディピティであると思います。

偶然の出会いという瞬間が少し一日を輝かせてくれました。

というのも、最近の日本社会は他者との関係性が希薄になっていると感じます。

これを表すデータとして、2019年に国連がThe World Happiness Reportという報告書を発表しました。

この調査は寿命、GDPなどのカテゴリで世界156各国を調査したのですが、その中にGenerosity(寛大さ)という項目があります。

この寛大さ、日本は何位だったと思いますか？

なんと156カ国中、58位という結果で、これは歴代で最悪だそうです。

この寛大さを社会が失ってしまうと、私たちの国はより多くのいじめ・自殺・うつ病などの深刻な社会問題を抱えることになってしまいます。

でも、日本は昔から集団を大切に、そして他者を尊重することで世界から賞賛を受けている国でもあります。

私たち一人一人が他人との関係性を意識し、他者を思いやることにより、日本がより人々にとって生きやすい国となるのではないのでしょうか。

今の時代は、日本人だけではなく、日本に住む外国人の人数も増えています。

この多様化の時代に生きる私たちは、より一層他者を尊重し、協同するという価値がとても大切なのではないのでしょうか。

皆さんが私の体験の共有によって、他者や社会との関係性を少しでも意識してくださることを願っています！